記事
Megumi Kakechi · 2021年6月16日 2m read

コンソールログに出力されるアラート情報の意味

これは InterSystems FAQ サイトの記事です。

InterSystems製品のシステムモニタが色々なリソースの使用状況を監視しています。

そしてその使用状況に応じてアラートやワーニング情報をコンソールログ（message.log/cconsole.log）に出力します。

アラート情報が表示するCPUのリソースについては、以下のものが定義されています。
ECP* ECP関連システムプロセス
LICENSESRV ライセンスサーバシステムプロセス
SLWDTYPE (WDSLAVE) スレーブライトデーモンシステムプロセス
WDTYPE (WRTDMN) ライトデーモンシステムプロセス
JDTYPE (JRNDMN) ジャーナルデーモンシステムプロセス
GCTYPE (GARCOL) ガベージコレクタシステムプロセス
CSPDMNTYPE (CSPDMN) CSPシステムプロセス
CSPSRV CSPシステムプロセス
ODBCSRV ODBCシステムプロセス
Mirror* Mirroring関連システムプロセス

表示される数値は、各システムプロセス生成以降のCPU使用時間をmsecで算出、前回計測時との差分で集計期間の使用時間の割合(%)を算出しています。

(ただし、2015.1
より前のバージョンでは、CPU使用時間の集計に正確さが欠け、100%を上回る場合があります。)

Alertの場合：
ある期間のセンサの読み取り値が 3 回連続してセンサの最大値を上回った場合にアラート (深刻度 2 の通知) を生成します。

Warningの場合：
ある期間のセンサの読み取り値が 5 回連続してセンサの警告値を上回った場合にワーニング (深刻度 1 の通知) を生成します。

以下ドキュメントをご参照ください。

ヘルスモニタについて【IRIS】

Caché ヘルスモニタについて

#ヒントとコツ #監視 #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%81%AB%E5%87%BA%E5%8A%9B%E3%81%95%E3%82%8C%E3%82%8B%E3%82%A2%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E6%84%8F%E5%91%B3